

拠点の空床確保事業実績

(1) 拠点の空床利用状況

拠点施設名	中野学園	若葉泉の里	フジエール
空床確保期間	R2. 4. 1～ R3. 3. 31	R2. 10. 1～ R3. 3. 31	R2. 11. 1～ R3. 3. 31
空床確保日数(2床分)	730	364	302
緊急利用日数	91	2	18
体験利用日数	199	0	8
合計利用日数	290	2	26
稼働率	40%	1%	9%

(2) 基幹相談支援センター拠点との連携状況報告(R2. 10～R3. 3)

拠点施設名	中野学園	若葉泉の里	フジエール
緊急受入要請件数	8	2	3
緊急受入実施件数	2	0	0
体験利用要請件数	0	0	0
体験利用実施件数	0	0	0
その他の支援要請件数	6	2	1
その他の支援実施件数	6	2	1
知的障害	13		(68%)
精神障害	2		(11%)
身体障害	3		(16%)
知的・精神障害	1		(5%)

(3) 基幹から緊急受入要請されたが拠点受入に至らなかった主な理由

- ・ 受入可と回答したが利用条件を理由に本人側が利用拒否。
- ・ 緊急性が低く、在宅支援継続が望ましいため。
- ・ 障害者の障害種別・特性等が施設と合わない可能性が高いため、まずは他の施設を当たってほしい。
- ・ 要請時間が遅く対応困難。

(4) 拠点によるその他の支援の内容

- ・ 緊急訪問支援
- ・ 緊急時に備えるための相談支援
- ・ 家族逝去や入院等に伴う相談支援
- ・ 施設からの地域移行に関する相談支援

(5) 報告結果から分かること

- ・ R2に2拠点を開設したが、拠点が新拠点に緊急受入を要請した件数は、若葉泉の里が2件、フジエールが3件のみで、空床の稼働率は若葉泉の里が1%、フジエールが9%に留まっている。
- ・ 基幹が拠点へ支援を要請した者の障害種別は、知的障害者が7割を占めており精神、身体は1～2割となっている。
- ・ 基幹が緊急受入を要請した者として拠点に要請を行った13件のうち11件は様々な理由により受入ができず、他の施設等にて受入れる等の結果となった。
- ・ 拠点コーディネーターが、緊急時訪問や相談員へのスーパーバイズ等で基幹の後方支援を行っている。